

2018 年秋学期の全時間訓練のための
メッセージアウトライン

主題：
中心的なビジョン

メッセージ 3

神のエコノミーにおける彼の意図——

キリストにある神ご自身をわたしたちの存在の中へと建造する

聖書：サムエル下 7:12-14 前半、ヨハネ 14:23、エペソ 3:16-17 前半、4:4-6、ピリピ 2:13

- I. 神の新約エコノミーとは、手順を経て、空想的に完成された三一の神がわたしたちの中へと造り込まれて、わたしたちの命となり、わたしたちの存在そのものになるということです——I テモテ 1:4、II コリント 13:14、エペソ 3:16-17 前半、ローマ 8:9-10、6、11：
- A. 聖書に啓示された最も重要で奥義的なことは、神の究極的な意図がご自身を彼の選びの民の中へと造り込むことです——ガラテヤ 4:19、エペソ 4:4-6。
 - B. 神の永遠の定められた御旨とは、ご自身をわたしたちの命またすべてとして、わたしたちの中へと造り込み、わたしたちが彼をわたしたちのパーソンとして取り、彼を生き、彼を表現することです。これが神の心の願いであり、聖書の中心点です——1:9、3:11、ピリピ 1:20-21 前半。
 - C. 神のエコノミーにおける彼の意図は、手順を経て、究極的に完成された三一の神がわたしたちの存在の中へと造り込まれて、わたしたちを新しいパーソン、新しい「わたし」にすることです——ガラテヤ 2:20。
 - D. 神の心の願いにしたがった神のエコノミーと目標は、ご自身を人の中へと建造し、人を神の中へと建造することです——サムエル下 7:12-14 前半、エペソ 3:17 前半。
 - E. 神の意図は、キリストをわたしたちの存在の中へと徹底的に造り込んでいただくことです。しかしながら、わたしたちの霊的な追求において、わたしたちはこの事について何の関心も持っておらず、自分自身の意図しか顧みないかもしれません——ピリピ 2:21。
 - F. わたしたちはみな神の願いが、ご自身をわたしたちの中へと造り込み、ご自身をもってわたしたちを再構成して、わたしたちが彼の証しとなるということを見る必要があります——II コリント 5:17、21、啓 1:12、20。
- II. 神のエコノミーは一つの事、すなわち神の唯一の働きに中心づけられています——ヨハネ 5:17、4:34、ピリピ 1:6、2:13、I コリント 15:58、16:10 後半：
- A. 宇宙における、代々にわたる神の唯一の働きとは、キリストにある神ご自身を彼の選びの民の中へと造り込んで、ご自身を彼らと一にすることです——ガラテヤ 4:19、エペソ 3:17 前半。

B. 神が願うのは、おもにわたしたちのために事を行なうことではなく、ご自身をわたしたちの存在の中へと造り込むことです—— 17 節前半。

C. 神の定められた御旨は、ご自身をわたしたちの中へと造り込んで、わたしたちの内なる要素とすることです：

1. この定められた御旨は宇宙の中心であり、この定められた御旨がなければクリスチャン生活は無意味です——啓 4:11。
2. 神の働きの原則は人を得ることであり、それによって前進する道を得ることです。
3. 正しい優先順位は、わたしたちが神のために働くことではなく、神がご自身をわたしたちの中へと造り込むことです——エペソ 2:10. ピリピ 2:13。
4. 霊的進歩は、わたしたちの内側で神に立場を得させることから成っています——コロサイ 2:19. エペソ 3:17 前半。

III. 聖書の支配するビジョンは、三一の神が選び、贖った人々の中へとご自身を造り込んで、彼らの命また命の供給となることであり、それは神聖な三一で彼らの全存在を浸透するためです——マタイ 28:19. II コリント 13:14. エペソ 4:4-6. 啓 1:4-5. 22:1-2 前半：

A. 神聖な啓示の核心は、神がわたしたちを創造し、贖ったのは、ご自身をわたしたちの中へと造り込んで、わたしたちの命、命の供給、すべてとなることです——創 1:26. 2:7. ローマ 8:10 後半, 6, 11：

1. 神の願いはわたしたちの中へと入って、わたしたちの命またパーソンとなることです——コロサイ 3:4, 10-11。
2. このようにして神はわたしたちと一となり、わたしたちは神と一となります。それから、彼がわたしたちの中に生きるとき、わたしたちは彼を生きます——ヨハネ 14:19 後半. ガラテヤ 2:20. ピリピ 1:21 前半。
3. これが聖書の神聖な啓示の基本原則です。

B. 新約の啓示がわたしたちに見せているのは、三一の神がどのように手順を経て、すべてを含む、命を与える霊と成って、ご自身をわたしたちの中へと造り込んで、わたしたちの命、命の供給、すべてとなるかということです——ヨハネ 7:39. I コリント 15:45 後半. II コリント 3:17 前半。

C. 全聖書は、三一の神が彼の贖われた人たちの享受、飲み物、命の泉、光として彼らの中へと造り込まれるという原則にしたがって書かれました——詩 36:8-9：

1. この原則は聖書のどの個所を解釈するにも、わたしたちを支配し、導くものでなければなりません。
2. わたしたちはこの原則をもって構成される必要があります、それはわたしたちにとってビジョンとならなければなりません。そうすれば、わたしたちの内側に内面的な原則があるようになり、わたしたちが語り、教え、宣べ伝えるものは何であれ支配するでしょう——箴 28:19 前半. 使徒 26:19。

IV. 神のエコノミーにおける彼の意図は、キリストにある神ご自身をわたしたちの存在の中へと建造することです——サムエル下 7:12-14 前半. エペソ 3:17 前半. ヨハネ 14:20, 23：

A. 神はキリストにある神ご自身をわたしたちの中へと造り込むことを願っており、キ

リストであるすべてと彼が達成したすべてはこの一つの事のためにあります——ピリピ 2:13. エペソ 3:17 前半. コロサイ 3:10-11。

B. わたしたちはキリストにある神ご自身をわたしたちの人性の中へと建造していただき、キリストにある神ご自身をわたしたちの命、性質、パーソンとしてわたしたちの中へと造り込んでいただく必要があります——エペソ 3:17 前半：

1. その結果、わたしたちは神の心にしたがった人たちとなるだけでなく、神格においてではなく命と性質において神となります：
 - a. 単に神の心にしたがった人は無意味です。なぜなら、その人は神の心にしたがっているかもしれませんが、依然としてむなしく、神をその心の中に造り込まれていないかもしれないからです。
 - b. 神はこのように言える人たちを欲しています、「わたしは単に神の心にしたがった人ではありません。わたしは神格においてではなく命と性質において神となっています」。
2. 神がわたしたちの日ごとの生活において取る大小すべての歩みは、キリストにある神ご自身をわたしたちの存在の中へと建造する彼の意図を成就するためです——ローマ 8:28。

© 2018 Living Stream Ministry